

第 76 回日本東洋医学会学術総会 スポンサードシンポジウムとランチョンセミナーを共催

漢方薬を中心とした OTC 医薬品と医療用医薬品を販売するクラシエ薬品株式会社は、2026 年 6 月 12 日（金）～14 日（日）に開催された「第 76 回日本東洋医学会学術総会」（主催：一般社団法人 日本東洋医学会）にて、スポンサードシンポジウムおよびランチョンセミナーを共催しました。



<スポンサードシンポジウムの様子>



<ランチョンセミナーの様子>

当社では、1981 年の医療用漢方エキス製剤発売以降、患者さん一人ひとりに寄り添う医療の実現を目指し、漢方薬による治療提案を行ってきました。

今回は、「第 76 回日本東洋医学会学術総会」にて、スポンサードシンポジウムおよびランチョンセミナーを共催しました。スポンサードシンポジウムでは、「漢方エキス製剤の上手な使い方」と題し、新たな目線で現代医療へ漢方エキス製剤を取り入れる実践的な方法を、エキスパートの先生方によるディスカッションを通して提案しました。またランチョンセミナーでは、「精神不調に対する漢方治療」と題し、精神不調における漢方治療の有用性および処方を使い分けについて、同名異方の観点から解説しました。当日は両イベント合わせて、約 700 名の医療従事者の皆さまにご参加いただきました。

■開催概要

学 会 名：第 76 回日本東洋医学会学術総会 (<https://convention.jtbcom.co.jp/76jsom/index.html>)

会 期：2026 年 6 月 12 日（金）～14 日（日）

会 場：富山国際会議場／富山市民プラザ

■スポンサードシンポジウム概要

テーマ：漢方エキス製剤の上手な使い方 ～困ったときの この一手～

日 時：2026 年 6 月 13 日（土）9:00～11:00

会 場：第 5 会場（富山市民プラザ 4F アンサンブルホール）

登壇者：（オーガナイザー）東京女子医科大学附属東洋医学研究所 木村 容子 先生

(シンポジスト) 札幌医科大学 医療人育成センター 教育開発研究部門 磯山 響子 先生
東京女子医科大学附属東洋医学研究所 近田 直子 先生
小金井つかめクリニック／ナビタスクリニック川崎 小林 千春 先生
富山大学医学部 和漢診療学講座 米澤 理可 先生
大阪医科薬科大学 麻酔科学教室 間嶋 望 先生
六本松漢方内科 迎 はる 先生

共 催：第 76 回日本東洋医学会学術総会／クラシエ薬品株式会社

■ランチョンセミナー概要

テーマ：精神不調に対する漢方治療 ～同名異方の観点からみた処方の使い分け～

日 時：2026 年 6 月 14 日（日）12:35～13:35

会 場：第 2 会場（富山国際会議場 2F 多目的会議室 201+202）

登壇者：（座長）富山大学学術研究部医学系和漢診療学講座 教授 貝沼 茂三郎 先生

（演者）慶應義塾大学医学部 漢方医学センター 専任講師 堀場 裕子 先生

共 催：第 76 回日本東洋医学会学術総会／クラシエ薬品株式会社

■クラシエの医療用漢方薬について

当社では、古来より日本独自に発展してきた漢方薬を 1981 年に医療用漢方エキス製剤として発売しました。漢方薬は従来、煎じて服用されてきましたが、エキス製剤にすることで、患者さんが漢方薬を手軽に服用できるようになりました。また、細粒剤に加え、漢方薬の味やにおいが苦手な患者さんのために錠剤タイプの製品もラインアップに加えました。

その後「1 日の服用回数を減らしたい」「お昼の飲み忘れが多い」という患者さんの声にお応えし、医療用漢方エキス製剤として初の 1 日 2 回服用製剤の「KB2 スティック」を 2002 年より発売を開始しました。コンパクト設計で、飲み口が小さいため服用しやすく、持ち運びに適したスティック包装を採用しました。現代に生きる人々の多様なライフスタイルにマッチした 1 日 2 回服用タイプは、医療用漢方エキス製剤の中で唯一当社のみがラインアップしています。これからも、患者さんのライフスタイルに合わせて選べる製剤を提供してまいります。

■クラシエ薬品について



日本を生きるあなたへ。

クラシエの漢方

クラシエ薬品は漢方のプロフェッショナルとして、半世紀以上にわたり日本に暮らす人々の健康で豊かな暮らしをサポートしてきました。漢方薬を中心に OTC 医薬品から医療用医薬品まで自社一貫体制の下で幅広く提供しています。

近年、健康の価値や暮らしのあり方が大きく変化している社会の状況を受けて、クラシエ薬品は漢方事業における医療用分野と OTC 分野の連携を強め、「クラシエの漢方」として事業一体で漢方薬を通じた健康価値の提供を高めていくことに挑戦していきます。

漢方を通じて、日本に暮らす人々が自らの健康を総合的に見つめ、理想とする健康的な暮らしをつくることをサポートしていきます。